

公共施設再配置・ 町有地有効活用等計画 を策定します

将来的な公共施設の適切な維持管理と未利用地の有効活用について、公共施設再配置・町有地有効活用等計画を策定します。

財務シミュレーションや人口ビジョンなどにより、二宮町の公共施設のあり方について検討します。

また、これまで町が行っていた施設の維持管理などに、民間の力を導入するなど、公民連携の可能性についても検討していきます。

町の公共施設の現状

現在、町には66の公共施設があり、日ごろから皆さんにご利用いただく一方で、多くの施設において老朽化が進んでおり、施設の更新（建替）や改修などの必要性に迫られています。

今後50年間、現状のままで施設を保有した場合の更新費用が約245億円に上るのに対し、町が施設に投資することができるのは約64億円（※）と試算しています。今後すべての公共施設を維持し続けることは困難であるため、施設の統廃合や複合化を



行うなど、将来にわたり施設の適切な維持管理ができる方策を検討しなければなりません。

また、町には大規模な未利用地が存在しており、これらも民間事業者のノウハウや資金を活用し、町の機能を民間施設に組み入れることなどによる町の財政負担の削減や、新たな財源を確保するなどの可能性について検討を行う必要があります。

※「二宮町公共施設再配置に関する基本方針」（平成25年度作成）より

計画策定スケジュール

本年度は、昨年度に設置した公共施設再配置・町有地有効活用等検討委員会を引き続き開催し、基本方針の策定および実施計画の素案作成をしていきます。来年度には町民ワークショップなどにより皆さまのご意見をいただきながら、実施計画を策定します。

※計画策定に関する情報は、随時ホームページなどでお知らせしていきます。

